学校番号	１０１

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書Ⅱ」　（光村図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 書Ⅰの授業で学んだことを発展させて、新たな書体を学び、文字の表情の違いによる表現の違いを学びます。
- 漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書、篆刻等を体験し、自分らしい「書」を表現することができるようになることを目指します。
- 一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。「鑑賞」を通じて、違った見方を共有することで、自分なりの感じ方・見方を深めていきましょう。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）　書の表現方法や形式などについて幅広く理解するとともに、書の伝統に基づき効果的に表現するための技能を身に付け、主体的に作品や鑑賞の学習に取り組もうとする。

（２）　書の美を味わい深く捉え、意図に基づいて構想しながら表現を工夫し、表現の意図をもって作品を制作する。

（３）　生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う創造的な表現活動に取り組む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の歴史や表現の方法・形式、多様性などについて理解している。【知】 ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けようとしている。【技】	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。【思】【判】【表】	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	漢字の書	・篆書及び隷書の古典臨書を通じて、表現形式に即した用筆・運筆、線質、字形を理解する。 ・構成する様々な要素を理解する。 「甲骨文」「石鼓文」 「石門頌」「曹全碑」 ・草書の古典臨書を通じて、草書の特徴を捉え、書体に即した用筆・運筆を理解する。 「書譜」 ・古典臨書を通じて、古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する(創作)	a:古典の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて、理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（鑑・知） a:書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために、必要な技術を身に付けている。(技) b:古典のよさや美しさを感受し、意図に基づいて、構想し、古典の特徴や書風に即した、用筆、運筆、字形などを工夫している。 b:創作された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑）（思） c:漢字の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。 c:書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（鑑）	作品	授業プリント 観察	振り返りプリント 観察

2学期	篆刻・刻字	・篆刻	a：篆刻を構成するさまざまな要素、書体・書風や配字等による表現の効果を理解している。(知) a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている(鑑)(知) a:目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、書体・書風、配字等による全体の構成の技能を身につけている。(技) b:篆刻の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。(鑑) ｂ：作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。(鑑) c：主体的に篆刻・刻字における創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 ｃ：主体的に篆刻・刻字の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑)	作品	授業プリント 観察	振り返りプリント 観察

	漢字仮名交じりの書	小林抱牛の作品、ほか 「生活の中の書」 「年賀状」	a:漢字仮名交じりの書を構成するさまざまな要素や、名筆や現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりの書の特質とその歴史、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。（鑑）（知） a:目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身につけている。（技） b:目的や用途、表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。（鑑） c:主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）	作品	授業プリント 観察	振り返りプリント 観察

3学期	仮名の書	・臨書を通じて、古筆（平仮名・変体仮名・片仮名）の表現形式に応じた全体の構成と、仮名の書を構成する様々な要素を理解する。 「関戸本古今和歌集」 「高野切古今和歌集」 三色紙 ・古筆の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。（創作）	a:仮名の書を構成するさまざまな要素や、仮名の古筆の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。(鑑)（知） a:仮名の古筆に基づく効果的な表現の技能、墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身につけている。（技） b:仮名の古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 b:仮名の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現実的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。（鑑） c:主体的に仮名の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に仮名の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）	作品	授業プリント 観察	振り返りプリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度